

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2021-13870(P2021-13870A)
 【公開日】令和3年2月12日(2021.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報2021-006
 【出願番号】特願2020-192989(P2020-192989)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月25日(2021.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、
該遊技領域内に突出しており左右に延びていると共に左右のうちの一方が低くなるよう
に上面が傾斜している領域形成部材と、
該領域形成部材が設けられた前記遊技領域の下方において、遊技者から常時開口してい
ることが視認可能とされ遊技媒体の受入れによって特典を付与する受入口と、
を備え、
前記遊技領域内に設けられた検出部に基づく抽選遊技の結果に応じて常時開口している
ことが視認可能な前記受入口への遊技媒体の受入可否が変化されるように構成されてなり

、
前記受入口への遊技媒体の受入可否は、受入不能位置と受入可能位置との間で遊技釘が
植設される盤面よりも前方位位置へ可動する案内部材により変化され、

前記検出部に基づく抽選遊技の結果が遊技球を前記受入口に受け入れる結果である場合
は、前記案内部材の上面を複数の遊技媒体が転動可能となるように前記案内部材を前記遊
技領域内に突出させ、前記案内部材の上面を転動する遊技媒体を前記受入口まで案内可能
な受入可能位置に位置させるとともに、前記検出部に基づく抽選遊技の結果が遊技球を前
記受入口に受け入れない結果である場合は、前記案内部材に遊技媒体が当接されないよう
に前記遊技領域内に突出しない前記受入不能位置に位置させ、

常時開口していることが視認可能な前記受入口の前方に誘導片を位置させ、前記受入口
に転動してきた遊技球の転動方向を変化可能にしており、

常時開口していることが視認可能な前記受入口の開口径は遊技媒体が同時に2つ以上受
け入れられない大きさとされている
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、特許文献1のような遊技機では、本来であれば受入れる必要のない遊技媒体を受入れてしまうことで、必要のない特典（遊技媒体の払出し、有利遊技状態の発生、等）を付与しなければならず、遊技機を設置している遊技ホール側の負担が増加する問題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明は、こうした実情に鑑みてなされたものであり、余分に遊技球が受入れられるのを低減させ、遊技ホール側の負担が増加するのを抑制されうる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、該遊技領域内に突出しており左右に延びていると共に左右のうちの一方が低くなるように上面が傾斜している領域形成部材と、該領域形成部材が設けられた前記遊技領域の下方において、遊技者から常時開口していることが視認可能とされ遊技媒体の受入れによって特典を付与する受入口と、を備え、前記遊技領域内に設けられた検出部に基づく抽選遊技の結果に応じて常時開口していることが視認可能な前記受入口への遊技媒体の受入可否が変化されるように構成されてなり、

前記受入口への遊技媒体の受入可否は、受入不能位置と受入可能位置との間で遊技釘が植設される盤面よりも前方位置へ可動する案内部材により変化され、

前記検出部に基づく抽選遊技の結果が遊技球を前記受入口に受け入れる結果である場合は、前記案内部材の上面を複数の遊技媒体が転動可能となるように前記案内部材を前記遊技領域内に突出させ、前記案内部材の上面を転動する遊技媒体を前記受入口まで案内可能な受入可能位置に位置させるとともに、前記検出部に基づく抽選遊技の結果が遊技球を前記受入口に受け入れない結果である場合は、前記案内部材に遊技媒体が当接されないように前記遊技領域内に突出しない前記受入不能位置に位置させ、

常時開口していることが視認可能な前記受入口の前方に誘導片を位置させ、前記受入口に転動してきた遊技球の転動方向を変化可能にしており、

常時開口していることが視認可能な前記受入口の開口径は遊技媒体が同時に2つ以上受け入れられない大きさとされていることを特徴とする遊技機。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明によれば、余分に遊技球が受け入れられるのを低減させ、遊技ホール側の負担が増加するのを抑制させることが可能な遊技機を提供することができる。